

平成 27 年度射水市行財政改革推進会議（第 3 回）議事要旨

- 1 開催日時 平成 27 年 10 月 9 日（金） 午前 9 時～午前 10 時 30 分
 - 2 開催場所 射水市役所小杉庁舎 301 会議室
 - 3 出席者
 - (1) 推進会議委員
中村委員（会長）、小林委員（副会長）、荒木委員、豊本委員、福島委員、牧田委員
 - (2) 当局
副市長、教育長
事務局：行政管理部長、行政管理部次長、財政課長、人事課長、人事課員 4 名
 - 4 欠席者
・推進会議委員
海老委員、塚本委員
 - 5 傍聴者等 なし
-

会議次第

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 議 事
 - (1) 外部評価の結果について
 - ア 第 1 評価グループの評価について
 - イ 第 2 評価グループの評価について
 - (2) その他
- 4 閉 会

(1) 外部評価の結果について

ア 第1評価グループの評価について

評価調書案説明

外部評価ヒアリングでの委員意見及び対象事業への評価を取りまとめた評価調書案について、事務局が説明した。

審議内容

各事業の評価について委員全体で審議した結果、第1評価グループの評価調書は次のとおりとすることとした。

指定宅地取得支援助成金

委員から追加意見等はなく、原案どおりとすることとした。

コミュニティバス運行費

委員から追加意見等はなく、原案どおりとすることとした。

社会福祉協議会福祉活動専門員設置事業補助金

・評価案に関する意見

地域福祉の進展には、社会福祉協議会が自立した組織として、専門性を持った立場から行政と連携を図って主体的に事業を進めることが大事であり、市は社会福祉協議会の機能強化に努めるべきである。

よって、市の役割として、「社会福祉協議会の自主性・自立性を高める」という内容を加える。

小杉みこし祭り事業補助金

委員から追加意見等はなく、原案どおりとすることとした。

・その他の意見

市が関わっているすべてのまつりについて、市は、その魅力をどのように市外・県外に発信し、交流人口の増加につなげていくのか方策を検討するべきである。

イ 第2評価グループの評価について

評価調書案説明

外部評価ヒアリングでの委員意見及び対象事業への評価を取りまとめた評価調書案について、事務局が説明した。

審議内容

各事業の評価について委員全体で審議した結果、第2評価グループの評価調書は次のとおりとすることとした。

射水市地域振興会連合会補助金

委員から追加意見等はなく、原案どおりとすることとした。

射水商工会議所補助金・射水市商工会補助金

・評価案に関する意見

本事業の事業目的を鑑みると、どちらの経済団体に所属していても、本来は同水準のサービスを受けられるべきであるが、制度上、両会が事業内容を平準化することは困難であることから、まずは、両会の交流・連携を進め、将来的には両会がひとつになることが本市の商工業の均衡ある発展において望ましいということが、本事業に対する結論である。

福祉入浴券交付事業

・評価案に関する意見

本事業の今後の方向性については、「廃止も含めて、抜本的に在り方を見直すべき」とする。

競技団体、地区（校下）活動補助金

委員から追加意見等はなく、原案どおりとすることとした。

(2) その他

今後のスケジュールについて、後日、会長及び副会長から市長へ外部評価報告書を手交する旨について、委員から承認を受けた。